

# タブリー県から11名の中学生が来町



タイ王国ノンタブリー県第一初等教育局と締結している教育交流協定に基づき行われている、中学生の相互訪問交流が今年度から再開されました。新型コロナウイルス感染症の影響により中止していたため、相互訪問するのは4年ぶり。8月には美郷中学校の生徒12名が同県を訪問し、現地のアヌラチャブ

ラシット校でさまざまな活動をしてきました。

アヌラチャブラシット校からは、12月18日に生徒11名が来町しました。4泊5日の日程となった今回の訪問では、美郷中学校での交流活動のほか、日本の文化、日本の「冬」を味わえるさまざまな体験活動が行われました。



12月19日、歓迎集会在美郷中学校で開催されました。歓迎あいさつや学校紹介など、歓迎集会は終始英語で行われました。

交流タイムとして設けられた時間では、美郷中学校の生徒が菖蒲太鼓や相撲などを披露。相撲を披露した場面ではアヌラチャブラシット校の生徒が相撲体験をするために登壇し、歓声が沸き上がりました。

※タイ王国ではお互いの名前をニックネームで呼び合う慣習が浸透しているため、広報美郷においても生徒の名前はニックネームで表記します。

## 相撲を体験した イッキュウさんのコメント

相撲に挑戦するのは今回が初めてだったけど、とても楽しむことができました。

# タイ王国との相互訪問交流

# タイ王国ノン

12月19日には、ノンタブリー県へ訪問した美郷中学校の生徒およびその家族とアニュアルチャプラシット校の生徒との交流も行われました。長い時間を一緒に過ごし、交流を深めました。



12月20日、美郷中学校で書道と音楽の授業に参加しました。

音楽の授業では琴の体験学習が行われ、美郷中学校の生徒に教わりながら「さくらさくら」を演奏しました。

## わら細工づくりを体験した ウンさんのコメント

わらを編むのは難しかったです。でも楽しかったし、良い経験になりました。



訪問期間中、美郷中学校の生徒との交流活動のほか、わら細工づくりや茶道、餅つきなどの体験活動も行われました。今回の訪問は日本文化の理解を深める貴重な経験となりました。

